

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 7 月 14 日 (2005.7.14)

【公開番号】特開 2003-154119 (P2003-154119A)

【公開日】平成 15 年 5 月 27 日 (2003.5.27)

【出願番号】特願 2001-357506 (P2001-357506)

【国際特許分類第 7 版】

A 6 3 F 7/02

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 3

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 11 月 10 日 (2004.11.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数種類の識別情報を可変表示可能な可変表示装置を含み、該可変表示装置の表示結果が予め定められた特定表示態様となった場合に遊技者にとって有利な特定遊技状態になるようにした遊技機において、

普通図柄始動条件の成立に基づいて識別情報を変動表示する普通図柄表示装置を備え、

前記可変表示装置における表示状態がリーチ状態から遊技者にとって不利な第 1 状態であるはずれ表示態様になったとき、前記普通図柄表示装置に前記リーチ状態に係るリーチ図柄と同一又は同一とみなされる識別情報が表示されることを条件に、前記可変表示装置における表示状態が遊技者にとって有利な第 2 状態になる

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

複数種類の識別情報を可変表示可能な可変表示装置を含み、該可変表示装置の表示結果が予め定められた特定表示態様となった場合に遊技者にとって有利な特定遊技状態になるようにした遊技機において、

普通図柄始動条件の成立に基づいて識別情報を変動表示可能な普通図柄表示装置を備え、

前記可変表示装置における表示状態がリーチ状態から遊技者にとって不利な第 1 状態であるはずれ表示態様になったとき、前記普通図柄表示装置に前記リーチ状態に係るリーチ図柄と同一又は同一とみなされる識別情報が表示されることを条件に、前記はずれ表示態様に係る外れ図柄を再変動表示させた後に前記リーチ図柄と同一あるいは前記リーチ図柄と関係する図柄にして、前記可変表示装置における表示状態が遊技者にとって有利な第 2 状態になるようにした図柄移行制御手段を有する

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 3】

前記可変表示装置の表示結果を予め決定する遊技制御手段を有し、

前記遊技制御手段は、前記図柄移行制御手段の設定する前記条件が成立すると、前記可変表示装置の表示結果が前記特定表示態様になるよう決定し直す

ことを特徴とする請求項 2 に記載の遊技機。

**【請求項 4】**

前記可変表示装置の表示結果を予め決定する遊技制御手段を有し、

前記遊技制御手段は、前記可変表示装置における表示状態がリーチ状態から遊技者にとって不利な第 1 状態であるはずれ表示態様になったとき、前記普通図柄表示装置に前記リーチ状態に係るリーチ図柄と同一又は同一とみなされる識別情報が表示されることを条件に、前記可変表示装置の表示結果が前記特定表示態様になるよう決定し直す

ことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

**【手続補正 2】**

**【補正対象書類名】明細書**

**【補正対象項目名】0008**

**【補正方法】変更**

**【補正の内容】**

**【0008】**

**【課題を解決するための手段】**

かかる目的を達成するための本発明の要旨とするところは、次の各項の発明に存する。

[ 1 ] 複数種類の識別情報を可変表示可能な可変表示装置 ( 3 1 0 ) を含み、該可変表示装置 ( 3 1 0 ) の表示結果が予め定められた特定表示態様となった場合に遊技者にとって有利な特定遊技状態になるようにした遊技機において、

普通図柄始動条件の成立に基づいて識別情報を変動表示する普通図柄表示装置 ( 1 4 0 ) を備え、

前記可変表示装置 ( 3 1 0 ) における表示状態がリーチ状態から遊技者にとって不利な第 1 状態であるはずれ表示態様になったとき、前記普通図柄表示装置 ( 1 4 0 ) に前記リーチ状態に係るリーチ図柄と同一又は同一とみなされる識別情報が表示されることを条件に、前記可変表示装置 ( 3 1 0 ) における表示状態が遊技者にとって有利な第 2 状態になる

ことを特徴とする遊技機。

**【手続補正 3】**

**【補正対象書類名】明細書**

**【補正対象項目名】0009**

**【補正方法】変更**

**【補正の内容】**

**【0009】**

[ 2 ] 複数種類の識別情報を可変表示可能な可変表示装置 ( 3 1 0 ) を含み、該可変表示装置 ( 3 1 0 ) の表示結果が予め定められた特定表示態様となった場合に遊技者にとって有利な特定遊技状態になるようにした遊技機において、

普通図柄始動条件の成立に基づいて識別情報を変動表示可能な普通図柄表示装置 ( 1 4 0 ) を備え、

前記可変表示装置 ( 3 1 0 ) における表示状態がリーチ状態から遊技者にとって不利な第 1 状態であるはずれ表示態様になったとき、前記普通図柄表示装置 ( 1 4 0 ) に前記リーチ状態に係るリーチ図柄と同一又は同一とみなされる識別情報が表示されることを条件に、前記はずれ表示態様に係る外れ図柄を再変動表示させた後に前記リーチ図柄と同一あるいは前記リーチ図柄と関係する図柄にして、前記可変表示装置 ( 3 1 0 ) における表示状態が遊技者にとって有利な第 2 状態になるようにした図柄移行制御手段を有する

ことを特徴とする遊技機。

**【手続補正 4】**

**【補正対象書類名】明細書**

**【補正対象項目名】0011**

**【補正方法】変更**

**【補正の内容】**

**【0011】**

[ 4 ] 前記可変表示装置 ( 3 1 0 ) の表示結果を予め決定する遊技制御手段 ( 1 0 0 ) を有し、

前記遊技制御手段 ( 1 0 0 ) は、前記可変表示装置 ( 3 1 0 ) における表示状態がリーチ状態から遊技者にとって不利な第 1 状態であるはずれ表示態様になったとき、前記普通図柄表示装置 ( 1 4 0 ) に前記リーチ状態に係るリーチ図柄と同一又は同一とみなされる識別情報が表示されることを条件に、前記可変表示装置 ( 3 1 0 ) の表示結果が前記特定表示態様になるよう決定し直す

ことを特徴とする [ 1 ] に記載の遊技機。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

可変表示装置 ( 3 1 0 ) における表示状態がリーチ状態から遊技者にとって不利な第 1 状態であるはずれ表示態様になったとき、普通図柄表示装置 ( 1 4 0 ) にリーチ状態に係るリーチ図柄と同一又は同一とみなされる識別情報が表示されることを条件に、可変表示装置 ( 3 1 0 ) における表示状態が遊技者にとって有利な第 2 状態になり、特定遊技状態が発生するようになる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 5】

このように、可変表示装置 ( 3 1 0 ) に表示されるリーチ状態に係るリーチ図柄と、普通図柄表示装置 ( 1 4 0 ) に表示される識別情報とが関連付けられるようにしたので、遊技者にとって有利な状態につながるリーチ図柄と同一又は同一とみなされる識別情報が表示されることを普通図柄表示装置 ( 1 4 0 ) の遊技において、遊技者が期待するようになる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 0 9】

遊技者にとって不利な第 1 状態から遊技者にとって有利な第 2 状態に移行する条件の設定を行う図柄移行制御手段が設けられている。図柄移行制御手段の設定する前記条件が成立すると、主基板 ( 遊技制御手段 ) 1 0 0 は、可変表示装置 3 1 0 の表示結果の決定をし直し、可変表示装置 3 1 0 の表示結果を特定表示態様にすることで、前記特定遊技状態を発生可能にするものである。本実施の形態では、図柄移行制御手段は、可変表示装置 3 1 0 における表示状態がリーチ状態から遊技者にとって不利な第 1 状態であるはずれ表示態様になったとき、リーチ図柄と同一又は同一とみなされる識別情報が普通図柄表示装置 1 4 0 に停止表示することを条件に設定している。図柄移行制御手段のプログラムは、ROM 1 0 3 に記録されている。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 1 1 0 】

具体的には、普通図柄決定手段は、遊技価値判定用乱数値を生成し、普通図柄始動条件の成立に基づいてその遊技価値判定用乱数値を抽出記憶して、この抽出された遊技価値判定用乱数値と予め設定された判定値とを判定時に比較して遊技価値を付加するか否かを判定し、この判定結果に基づいて、前記普通図柄表示装置 1 4 0 に前記複数の識別情報を停止表示させるべく決定する。そして、普通図柄表示装置の表示結果がリーチ図柄と同一又は同一とみなされる識別情報になると、主基板（遊技制御手段）1 0 0 は、可変表示装置 3 1 0 の表示結果が特定表示態様になるよう決定し直す。普通図柄決定手段は主基板（遊技制御手段）1 0 0 に含まれている。

## 【 手続補正 9 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 3 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 1 3 3 】

本実施の形態では、図柄移行制御手段の設定条件が成立すると、主基板（遊技制御手段）1 0 0 の決定をし直す構成になっている。具体的には、可変表示装置 3 1 0 のリーチ表示態様になってからはずれ表示態様になり、そのリーチ表示態様に係るリーチ図柄と同一又は同一とみなされる識別情報が前記普通図柄表示装置 1 4 0 に停止表示されると、主基板（遊技制御手段）1 0 0 が可変表示装置 3 1 0 の表示結果が特定表示態様になるよう決定し直す。

## 【 手続補正 1 0 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 3 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 1 3 6 】

主基板（遊技制御手段）1 0 0 が大当りを抽選しておらず（ステップ S 1 3 0 3 : N）、可変表示装置 3 1 0 において、リーチ表示状態の後に外れ表示状態になったとき、すなわち、リーチ図柄が表示され、かつ、はずれ図柄が仮停止した場合（ステップ S 1 3 0 4 : Y）、普通図柄とリーチ表示態様に係るリーチ図柄とが同一又は同一とみなされる図柄であるかを判断する（ステップ S 1 3 0 5）。

## 【 手続補正 1 1 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 3 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 1 3 8 】

また、リーチ表示態様になっても、普通図柄とリーチ表示態様に係るリーチ図柄とが同一又は同一とみなされる図柄でなければ（ステップ S 1 3 0 5 : N）、可変表示装置 3 1 0 の表示結果がはずれ表示態様になる（ステップ S 1 3 1 1）。

## 【 手続補正 1 2 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 3 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 1 3 9 】

普通図柄とリーチ表示態様に係るリーチ図柄とが同一又は同一とみなされる図柄であれば（ステップ S 1 3 0 5 : Y）、主基板（遊技制御手段）1 0 0 が再抽選して、大当りを抽選する（ステップ S 1 3 0 6）。次に、はずれ表示態様に係るはずれ図柄が再変動を開

始する（ステップS 1 3 0 7）。そして、はずれ図柄がリーチ図柄と同一あるいはリーチ図柄と関係する図柄になり、可変表示装置3 1 0の表示結果が特定表示態様になり（ステップS 1 3 0 8）、特定遊技状態が発生する（ステップS 1 3 0 9）。リーチ図柄と関係する図柄とは、例えば、リーチ図柄が「7」の数字であるとき、星形の図形や「A」の文字などをいう。

【手続補正1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 4 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 4 0】

したがって、可変表示装置3 1 0の表示結果であるリーチ表示態様と、普通図柄表示装置1 4 0に停止表示される普通図柄とが関連付けられ、遊技者は、普通図柄表示装置1 4 0の遊技において、リーチ表示態様に係るリーチ図柄と同一又は同一とみなされる普通図柄の表示を期待するようになる。

【手続補正1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 4 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 4 2】

また、前記実施の形態では、可変表示装置3 1 0に表示されるリーチ表示状態がはずれ表示状態になり、普通図柄表示装置1 4 0にリーチ表示状態に係るリーチ図柄と同一又は同一とみなされる普通図柄が表示されると、主基板（遊技制御手段）1 0 0が再抽選して、可変表示装置3 1 0のはずれ表示状態に係るはずれ図柄のみが再変動してリーチ図柄になって、可変表示装置3 1 0の表示結果が特定表示態様になるものを示したが、可変表示装置3 1 0のはずれ表示状態に係る識別情報（リーチ図柄およびはずれ図柄）の全てが再変動するようにしてもよい。

【手続補正1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 4 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 4 4】

【発明の効果】

本発明に係る遊技機によれば、可変表示装置における表示状態がリーチ状態から遊技者にとって不利な第1状態であるはずれ表示態様になったとき、普通図柄表示装置にリーチ状態に係るリーチ図柄と同一又は同一とみなされる識別情報が表示されることを条件として、可変表示装置における表示状態が遊技者にとって有利な第2状態になるようにしたので、例えば、特定遊技状態が発生するようにしたので、遊技者は、普通図柄表示装置の遊技において、リーチ図柄と同一又は同一とみなされる識別情報の表示を期待するようになり、表示上の面白が増し、遊技性を高めることができる。

【手続補正1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 4 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 4 5】

また、可変表示装置における表示状態がリーチ状態から遊技者にとって不利な第1状態であるはずれ表示態様になったとき、普通図柄表示装置に前記リーチ状態に係るリーチ図

柄と同一又は同一とみなされる識別情報が表示されることを条件に図柄移行制御手段が設定し、条件が成立すると、はずれ表示態様に係る外れ図柄を再変動表示させた後にリーチ図柄と同一あるいはリーチ図柄と関係する図柄にし、可変表示装置の表示状態が遊技者にとって有利な第2状態になるようにしたので、同じく、表示上の面白みが増し、遊技性を高めることができる。

【手続補正17】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図13

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 13】

